



国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー
Mark Daniel Maloney

国際ロータリー第2530地区ガバナー 芳賀 裕

福島南ロータリークラブ 会長 鈴木 光一 幹事 菅野 良二
目標「奉仕の心で人との繋がりを大切にしよう」

会員/75名 出席/47名 出席率/62.67%
マークアップ/28名 修正/75名 修正後率/100.00%

会長挨拶 鈴木 光一 会長



本日のお客様の紹介致します。始めに本日スピーチを頂きますスティーブ寺田様です、通訳を頂きます福島グローバルRC所属で地区の「学友・平和フェロシップ委員会」委員長の鈴木美恵子様、米山奨学生・邱 昌 昌さん・交換留学生のミゲル君です。

今月は、平和と紛争予防・紛争解決月間となっております。2月23日はロータリークラブの創立記念日1905年シカゴでポール・ハリスら4人の仲間が集まり会合を開き

ロータリーの歴史が始まりましたが、2月4日と言えば誰の誕生日かお分かりでしょうか？

慶応4年2月4日は、日本ロータリーの父、米山梅吉が誕生した日です。大和国・高取藩「現在の奈良県」の和田家の三男として東京で生まれ、その年の9月8日より元号が明治に変わり、父の死後、母の故郷の静岡県・長泉（現米山梅吉記念館の所在地）に移り中学生まで過ごし、1883年上京しその後米山家に養子として入籍し渡米し学問を修め1895年に帰国後、三井銀行に入行しました。1918年渡米中にダラスRCのロータリアンになっていた福島喜三次の紹介により彼はロータリークラブと出会い、そして帰国後の1920年（大正9年）10月、東京RCを創立し会長に就任し幹事を引き受けたのは福島喜三次です。1924-26年度国際ロータリー（RI）のスペシャル・コミッショナー、1926-27年度RI理事（日本人初）1928-31年度・第70地区（当時）ガバナーなどを歴任し、1952年、東京RCは彼の功績を記念し日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う「米山奨学制度」を構想しました。現在の「ロータリー米山記念奨学会」です。1946年（昭和21年）4月28日長泉にて78歳で逝去、お墓は米山梅吉記念館近くと横浜市の総持寺の2か所にあるそうです。

人との繋がりの大切さとロータリーの基礎を築いた「ポール・ハリス」日本のロータリーを築いた「米山梅吉」のお二人に敬意を表し、世界の平和を願い本日の挨拶と致します。

☆☆☆ 誕生祝い 親睦活動委員会 ☆☆☆



2月のお誕生日の皆さんおめでとうございます 席上で『私の宝物』を発表して頂きました。

鈴木 光一 会長



息子が初任給で買ってくれた腕時計！細く長くお付き合い下さい！書いてくれたお父さんの絵！

齋藤 浩 会員



今日の日が最高！

関口 富美男 会員



子供が小学生の時に

〈欠席者〉今月お誕生日
横山 りつこ 会員
菅野 孝之 会員
おめでとうございます！

ゲストスピーチ スティーブ 寺田 様

私は、日系三世のアメリカ人である。祖父は、日本の熊本からハワイに移住している。私は、震災後、2011年6月に、ハワイのロータリアンたちとこの福島南RCを初めて訪れた。当時、私は座間の米軍キャンプで勤務していたので、すぐ勤務に戻る必要があったため、ロータリアンたちにいつか福島に戻ってくることを約束して、福島を後にした。2018年に福島を訪れたとき、原子力発電所の事故のための放射線の汚染によって、福島が未だに安全でないと考えられていることを知った。福島は、避難地域を除いて、ほとんどの人々が普通の生活をしてきた。しかし、世界の人々がいまだに福島が放射性物質のために危険であると信じていること、そして、彼らは震災後、福島が目覚ましい復興を成し遂げ、進歩していることを認識していないことを知って驚いた。私は、この認識不足が、福島風評被害の根本的な理由であると考えた。

そこで、2019年2月からハワイから福島に引っ越し、福島風評被害解消のために活動することにした。福島県内の様々な地域を訪れ、自分自身で情報を集め、多くの人に話を聞き、福島の現状や真実について調べた。そして、それを様々なメディアで発信した。たとえば、記事にして、ハワイの日系人の新聞に日本語の記事を掲載してもらったり、英語の記事を新聞や雑誌などに投稿したり、様々なところでスピーチを行ったりしてきた。また、ハワイのテレビ局でのインタビュー（ユーチューブにアップ）や福島の民報社、TUFのテレビ、ラジオ福島などでも私の活動について発信していただいた。福島は、東京から離れており、過去においても、現在においても外国人が福島を訪れることは少なく、福島のことを知らないのである。また、震災後の復興プログラムは、複雑で理解することが難しく、正確なメディア報道が欠けていた。これらの要素がすべて影響して、一般の人々が今日の福島を理解することを難しくしてきた。しかし2020年の夏季、東京夏季オリンピックは、福島についての世界的な認識を更新するための大規模でタイムリーな情報発信のための機会となると考えられる。私は、福島の現状と真実について多くの人々に伝えようと活動してきたが、更なる活動が必要とされる。オリンピックが始まる前に、自分たちから世界に対して、福島についての真実を様々なメディアによって大規模に情報発信を行うべきだと考える。



この一年の福島滞在中に、ロータリアンの皆様に多大なご協力とご支援をいただいたことに心から感謝いたします。今日は、ありがとうございました。（*スピーチの概要です*）

*** その他 例会写真 ***

通訳 鈴木美恵子様、50周年報告 野地さん、読みどころ 佐藤さん、奨学生お二人



- 2月12日（水）例会プログラム
1. 開会点鐘
 2. 国歌斉唱・ローターソング
 3. 四つのテスト
 4. 来訪者紹介と会長挨拶
 5. お食事をどうぞ
 6. 成蹊高校奨学金授与
 7. 銀座新RC様ご挨拶
 8. ゲストスピーチ
 9. 各委員会報告
 10. 閉会点鐘
- 2月は「平和と紛争予防・紛争解決月間」です。

- 例会予定 —
- ・2月12日（水）福島成蹊高校奨学金授与、ゲストスピーチ（成蹊高校 鈴木智美 様）
 - ・2月19日（水）ガバナー補佐訪問、杉妻小読書感想文発表
 - クラブ関連行事
 - ・3月21～22日 復興フォーラム
 - 地区・その他行事
 - ・2月15日（土）新会員セミナー（エルティ）
 - ・2月22日（土）RYLA研修会